

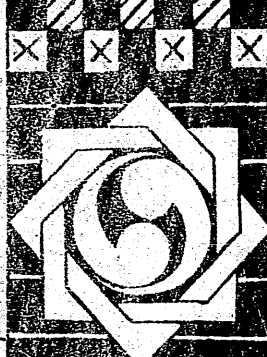

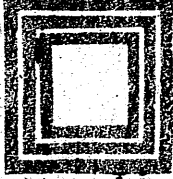




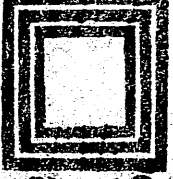








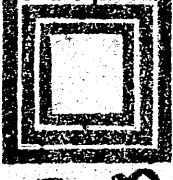












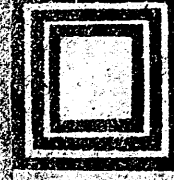

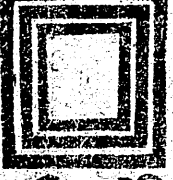



近世 22.7-07-048

 松上 松上	 山下 金飛		 岩井 津屋	 清 墨	
 高 高	 上 菊		 川 菊	 川 菊	 沢村 新井
 川 菊	 上 菊		 川 菊	 川 菊	
 川 菊	 物 長		 川 菊	 川 菊	
 川 菊	 川 菊		 川 菊	 川 菊	
 川 菊	 川 菊		 川 菊	 川 菊	
 川 菊	 川 菊		 川 菊	 川 菊	
 川 菊	 川 菊		 川 菊	 川 菊	

板元 田所町 川新町 正

芥三の

流行の發句

扇面入

二の橋や

深川山園

おろかこやまひびく

芥四の

謡曲の發句

扇面入

鳥山や

深川山園

すそやまのり

芥五の

そのむ

こひのあどどめ

春柳

其書言

別添の松竹梅

芥二番目入

常盤津若大夫 日大松英夫 津澤英三 常盤津若大夫 日松英夫 津澤英三 常盤津若大夫 日松英夫 津澤英三

浄瑠璃 竹本入太夫 常盤津若大夫 日松英夫 津澤英三 常盤津若大夫 日松英夫 津澤英三

芥一番目

後

人 姓名

Handwritten text in columns, including names and titles, likely a list of performers or authors.

十二番目

役

人番名

小世言二弁
 大世言二弁
 神田日弁
 泉五法目九弁
 海老名軍弁
 湯野の源弁
 荒井の源弁
 魚井の源弁
 お七母かかや
 仁田の世弁
 白田の世弁

家主の首の五五
 港風うん年
 子金銀かま
 炎金銀かま
 日金銀かま
 赤金銀かま
 八金銀かま
 八金銀かま
 八金銀かま
 八金銀かま
 八金銀かま

狂言 他者

千鶴子蔵
 ちくや
 天保三年
 癸丑正月廿三日

狂言 他者

千鶴子蔵
 ちくや
 天保三年
 癸丑正月廿三日

長 奥 三 味 線
 長 奥 三 味 線
 長 奥 三 味 線
 長 奥 三 味 線
 長 奥 三 味 線
 長 奥 三 味 線
 長 奥 三 味 線
 長 奥 三 味 線
 長 奥 三 味 線
 長 奥 三 味 線
 長 奥 三 味 線

狂言 他者
 千鶴子蔵
 ちくや
 天保三年
 癸丑正月廿三日

板元 日所町 小川 正徳